

みんなで作る「未来へのワンシーン」

いよいよ12月に入り、2学期も残すところあとわずかとなりました。1年の中で最も長く、たくさんの学習、行事のあった2学期。その中で見られたチャレンジする心、異年齢での関わり合い、友達と学び合える関係。そんな素敵な子どもたちの姿を「未来へのワンシーン」としてかがやきストリートに掲示しています。写真の周りは、子どもたちの描くその季節折々のイラストが彩ります。市場小学校みんなでつくってきた「つながり」いっぱいの足跡。ぐっつと冷え込む季節ですが、その前を通る度にほわっとあたたかい気持ちになります。



1年生 図画工作科

「ふわっと ぎゅっと おはながみのえ」

さて、今回のCanvasは、そんな2学期のまとめの授業研究会として1年生で行った図画工作科「ふわっと ぎゅっと おはながみのえ」の学習の様子についてご紹介です。「おはながみ」の特徴を生かしながら、形や色の面白さを感じ取り、工夫して絵にあらわすことをねらったこの題材。その前段階として、「紙」という素材を使っての造形遊び「わくわくペーパー」に取り組みました。薄紙紙という柔らかくて薄い大きな紙を自由に使って遊ぶ1年生。弾ける笑顔がいっぱいです。破ったり、丸めたり、ねじったり。つなご合わせて寝転んでみたり、くるまってみたり。体をいっぱいに使って活動する中で、感覚を通して、「材料の特徴や質感」、「形やそれを形作るための方法」に気がついていきます。友達同士で対話したり、協力したりしながら思い思いに楽しんでいました。



なげたら ふんわり とよよ！
ゆっぴり おちてきて きれい！



こしに まいたら、ほら！
わたしだけのおきにいりのドレス



つなげてもっともっと大きいへや
にしよう！やふれやすいからそ
とね。ささやおい紙はふ
わふわのベッドだね。

その体験が「ふわっと ぎゅっと おはながみのえ」の学習につながっていきます。薄紙紙とは違い、たくさんの色のあるお花紙と出会った子どもたち。「すてきなから向こうまで水色に見えるよ」「見て！重ねたら色が変わった！」「と材料の質感や形だけでなく、「色」という視点からの新たな発見も重なり、「にじの世界をつくりたい！」「お花畑でいっぱいになりたい！」という思いやイメージが膨らんでいきました。

「海の世界をつくりたいから、台紙の画用紙は青。」「ここは、お花の家の部分だから紙をぎゅっと細く丸めたいよ。」「雪を降らせようと思って、最初は白にしようと思ったけど、白の画用紙の上では目立たないから、水色にしたい！」と、どんどん溢れ出すたくさんの思い。その言葉の中には、何色を使うのか、お花紙をどんな形にするのか、そのためにどんな方法を使うのかなど、造形的な見方・考え方がたくさん盛り込まれていました。これまでの学びと自然と関連付け、それらを活かしながら画用紙の上に自分の思いを表現することを楽しくむ様子を、研究主題で掲げる目指す姿と重なるものでした。

さらに、タブレットを使って作品への思いを書き込んだり、友達の作品を共有したりすることで、学びを深める場面も見られました。自分の頑張ったことを振り返り、「次の時間はこをもっと頑張りたい！」という見通しをもつことで、次時への意欲が高まります。

次の日の朝。登校してきた子どもたちが「早くやりたい！！」と目をキラキラさせて1時間目を守つ姿はとても嬉しいものでした。心の動く体験があること、その中で自分のめあてをもつこと、振り返りを生かす「次はこうしたい！！」と考えること。その流れが、子どもたちの主体的な学びを支えています。今後も全校で系統的に大切にしたい視点だと、改めて捉えることのできる授業研究会となりました。



台紙の画用紙の色から自分で選びます。自己選択、自己決定が、「自ら学ぶ」姿勢を育みます。



タブレットの活用はまだ始まったばかりの1年生。楽しみもあるけれど、これも「自ら学ぶ」ための土台として大切なこと。「使い方を教えて！」と自然に生まれる協働もステキなワンシーンです！

